『首振りエンジンのシミュレーション』

僕は誕生日に蒸気機関車を買ってもらいました。（科学教材社：ベビーエレファント号）作る前に、エンジンを発明したジェームス・ワットさんの勉強をしました。(サイエンスチャンネル：http://sc-smn.jst.go.jp/8/bangumi.asp?i_series_code=C990501&i_renban_code=003)

そしてでき上がった蒸気機関車の実際に動くエンジンを見て、「シミュレーションできるかもしれない。」と思いこの作品を作りました。蒸気機関車を組み立ててみたら、原理がよくわかり首振エンジンが作りやすくなりました。

僕は入ってきた空気の力でピストンを動かし、クランクが回る仕組みにしたかったのですが、それはできませんでした。特にピストンと空気の入る速度をあわせるのが大変でした。それでもちゃんとしたシミュレーションができてよかったです。

平成１７年５月８日

４年　れい